

とんぐり村の こみ・すく通信

令和2年11月9日発行 第22号
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団 の活動を紹介〈その12〉

更小と上更小5, 6年 小々連携で 「さらべつほーぷ」の方々から学ぶ

昨年度から学校応援団である「さらべつほーぷ」の授業(道徳)は小々連携の形を取り、更小・上更小の児童が一緒になって活動をしています。

今年は10月21日、5年生と6年生それぞれに授業をしていただきました。

5年生「個性(自分らしさ)を知る、尊重する」



5年生では、小林先生(更別農業高校)が中心となり授業を進めました。

まんが「ドラえもん」に出てくる「のび太くんはどんな人?」という発問に始まり、次に「わたしはこんな人です」「自分の好きなこと、得意なこと」から、それぞれの個性を知ることにつなげました。

また、ロールシャッハテストの画像を見てそれぞれ何に見えるか話し合い、人によって感じ方、見え方が違うということを改めて知ることができました。



何に見えますか

よい所も悪い所も含めて「個性」があるのは素敵なこと。その個性を認め合い、尊重することの大切さを学びました。

6年生「自分の考えを自信をもって伝える」

6年生では山田医師(診療所)が中心になり授業を進めました。



まずは2人で「更別・上更別小学校にあったらよいもの・こと」について自分の意見を発表し、聞く側は、その意見を否定せず、よい点、優れている点を探し相手に伝えていきます。

次に、4人になり、「更別村にあったらみんなのためによいもの・こと」について、同じように交流をし、最終的にどの意見がよいか話し合いをして決めていきました。

子どもたちからは、「自分の言ったことを認めてもらえるのは、とてもハッピーだった。」という感想を聞きました。

「物事に対する考えや意見は人それぞれ違うのが当たり前であり、それを尊重していくこと」など、多くを学びました。

更中1年 ウォークラリーで村内の4事業所にご協力をいただく

7月に実施するはずだった遠足が、感染症防止のため延期になり、その代替のものとして10月22日にウォークラリーを実施しました。目的は「地域のよさを再発見する」です。

グループごとに指定されたコースを歩いてどんぐり公園にゴールをするのですが、そのコースのひとつに、施設にお伺いし質問をさせてもらい一緒に写真を撮るという内容がありました。ご協力いただいた施設は、「JAさらべつ」「石村車輛整備工場」「山田商店」「改善センター図書室」(敬称略)でした。大変ありがとうございました。



【一緒に写真を撮る】